

食育月間以外の月の取組

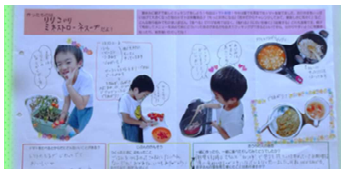
施 設 名	宇和島市立番城小学校
取 組 の 名 称	「お弁当の日」の実施
実 施 時 期	10月7日（金）
取 組 内 容	番城小学校では、年間5回「お弁当の日」を実施しています。 児童は、次の5つのコースからできることを選んで取り組みます。 ① いただきますコース 作ってもらったおかずを弁当箱に詰めます。 ② なかよしコース 家の人と一緒に手伝いをしながら弁当を作ります。 ③ おにぎりコース 好きな味のおにぎりを自分で作ります。（2年以下の目標です。） ④ 一品チャレンジコース おかずを1品、最初から最後まで自分で作ります。（3年以上の目標です。 6年生は一人前コースを目指します。） ⑤ 一人前コース 弁当のメニューから調理までを、全て自分でします。  児童が弁当づくりに主体的に関わることは、自らの食への関心を高め、1日に必要な栄養をバランスよく摂取すること、安全な食品を選んで食べること、自分で食事を作り規則正しく食事をとること、命ある食材やその生産者などに感謝する気持ちを持つことなど、子供のうちに身に付けてほしい内容がたくさん詰まっています。   宇和島市立番城小学校ホームページ https://banjo-e.esnet.ed.jp

食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立三浦小学校
取 組 の 名 称	三浦小でとれたさつまいもで料理をつくろう
実 施 時 期	11月
取 組 内 容	本校は、児童数20名の小規模校です。6月に植えたさつまいもを縦割り班で10月末に収穫しました。そのさつまいもを使って、「料理をつくろう」と全校児童に呼び掛けたところ、家庭で作ったさつまいもの料理の写真がロイロノートの提出箱に送信されてきました。 1種類だけでなく、たくさんの料理を送信してくれた人もいました。また、料理（スイートポテト）の手順を写真に撮って送ってくれた人もいました。送信されてきた写真を校内に掲示したりホームページで紹介したりして、地産地消や普段の食生活を振り返ってみることを呼び掛けました。 <縦割り班でさつまいもの収穫> <スイートポテトの手順> <ロイロノートの提出箱に送られてきた写真等> <校内掲示>

食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立宇和津幼稚園
取 組 の 名 称	コロナ禍を通しての食育 ～幼稚園の特性を活かして～
実 施 時 期	11 月 16 日
取 組 内 容	令和 4 年度宇和島市保育協議会調理部会研修会 食育事例報告 コロナ禍を通しての食育 ～幼稚園の特性を活かして～ 本年度は、標記研修会で本園主任が発表する機会をいただいた。そこで、発表内容「4～11 月の実践及びまとめ」について報告する。 1 実践 (1) お弁当 週 2 回、お弁当を各保育室で食べている。発達の段階に応じて弁当に入れる野菜の種類を親子に意識してもらっている。園児だけでなく保護者の意識や実践の向上につながっている。 (2) 学校給食 週 3 回小学校と同じ学校給食を始めて 3 年目、ちょうどコロナ禍と重なっている。年長さんばかりか年少さんの食にも好影響を与えている。栄養士を招いての見学や研修を行った。 (3) 親子クッキング 長期休業中の家庭での取組として、テーマを決めて親子クッキングを継続実施している。昨年冬は大根を使った料理、本年夏はトマト料理。休み明けには親子で台所に立てる喜びや達成感を発表し合いみんなで共有している。 (4) トマト栽培 カゴメ(株)からトマト(凜々子)の苗を大量にいただき、園庭に畑を増設したほか、各家庭、小学校各学年、地域の方で栽培を行い、ミニトマトとは違った難しさや面白さを経験し合った。収穫後、ピザやジュースで味わった。 (5) 小学校・地域とのかかわり 畑の増設や野菜の栽培・収穫では、地域の方や栽培上手な小学校の校長先生と仲良くなった。公民館には、<u>稲刈り～おにぎり会食</u>まで一連の流れを体験させていただき、その様子を公民館報で地域に発信していただいた。 2 まとめ ○ 保護者を交えた会食はできないが、家庭を巻き込んだ食育が行えている。 ○ 食に対する意識が高まり、食品・食材への親しみも増している。 ○ 制限のある中、家庭や地域、関係機関との交流にも一役を担っている。 ○ 研修会での発表及び本年度の反省をもとに、一層の改善を図っていく。



食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立岩松幼稚園
取 組 の 名 称	お米について学ぶ。(地場産物食育推進事業)
実 施 時 期	令和4年10月24日(月)
取 組 内 容	【目 的】 ○ お米の大切さを知り、園や家庭での食育につなげていく。 【対象者】 3歳児5名 4歳児5名 職員4名 【実施内容】 ○ お米作りをしている方から、お米の成り立ちについてスライドを見たり話を聞いたりする。実際に稲や粳に触れることもでき、幼児たちは興味深く体験活動に参加していた。炊きたたのご飯の味は、格別だったようで、お米のおいしさを味わっていた。 【園での成果】 ○ 園では、週3回学校給食を実施している。給食のお陰で少しずつ偏食も改善されてきているが、まだまだ課題は多い。特に年齢に応じた量を食べることができにくく、少しずつ量を増やしているところである。体験活動を通して、残さず食べることの大切さを感じた幼児も多く「ご飯は大事だね!」と言いながら、完食を目標に頑張る姿も見られるようになってきた。 【家庭への啓発】 ○ 体験活動の様子を保護者にも伝え啓発につなげた。 コロナ禍のため、計画していた給食参観も実施できなかったが、一人一人の給食の成果を写真や園便りで保護者にも伝えていった。



食育月間以外の月の取組

施設名	宇和島市立番城美徳認定こども園
取組の名称	コロナ禍における食育
実施時期	令和4年10月31日・11月2日・11月18日
取組内容	【目的】 コロナ禍においても、子どもたちに食の大切さや楽しさを伝える。 【対象】 全園児 93 名 【内容】 ≪園内放送を利用した食育活動≫ ・調理員による園内放送 ★ばんび給食マナーの日 「足は床についてますか？ お皿に手は添えてますか？ 背中丸くなってませんか？ 箸やフォークは正しく持ててますか？」 など食事のマナーが身に付くように放送で確認しています。 ★行事食 収穫したサツマイモを使ってのおやつを放送で知らせました。 変身したサツマイモのおやつは大好評でした。 ★ハロウィンパーティー 子どもたちが楽しめるメニューを考え放送で知らせました。 「おばけパン美味しかった～」 【考察】 コロナ禍で調理員との関わりがなくなっている中、調理室から食育を発信できる方法はないかと話し合い、放送で子どもたちに知らせることにしました。放送が始まると子どもたちは、静かに耳を傾け聞いています。給食のマナーや食材を確認したりして反応もいいようで、続けていきたいと考えています。



今から食事のマナーについてお知らせします。



食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立高光保育園
取 組 の 名 称	田植えから稲刈りまでの道のり
実 施 時 期	令和4年5月上旬～9月下旬 (9月20日(火)の食育の日にむけて)
取 組 内 容	(目的) ほぼ毎日食べている主食のご飯がどうやってできるのかを知り、食に対して興味や感謝の気持ちが高まることを目的としました。 (対象) 全園児 15 名（主に幼児組 11 名） 職員 8 名 (内容) 5/11 全園児がバケツと発泡スチロールの中に米の稲を植えていきました。 8/25 稲刈りをしました。刈った稲はしばらく干します。 8/31 脱穀ともみすりをしました。 9/13 精米しました。時間をかけてがんばったわりに少ないお米に驚きます。 9/20 自分たちで収穫したお米を炊いておにぎりにして食べました！（食育の日）  田植え  稲刈り  脱穀  精米  洗米  おいし～  わらは畑に... (考察) 5月の田植えから4ヶ月半に渡り、稲刈り、脱穀、もみすり、精米、炊飯を経験しました。一つ一つの作業に時間がかかり、何日もかけて仕上がったお米の姿を見たときは感動ものでした。普段当たり前に食べているご飯がこんなにも重労働な作業関わっている事に気づく良いきっかけになったと思います。

食育月間以外の月の取組

施設名	宇和島市立小池保育園		
取組の名称	『鯛の出荷を見に行こう』		
実施時期	令和4年8月29日(火)		
取組内容	【ねらい】 ・ 地元の食材について知り、食への興味・関心を深める。 ・ 生命の不思議さ・大切に気づき、環境を守る気持ちを育てる。 【実施内容】 ・ 宇和島市では新型コロナウイルス感染症の影響で低迷している地元水産業を応援するため、「#鯛食べよう！」のテーマで、給食に宇和島産の鯛を取り入れています。小池地区では、その鯛を養殖している保護者がいて、今回は出荷の様子を見学させてもらいました。生けすの中で泳ぐたくさんの鯛にびっくりの子どもたちです。海の中の小さな生き物を見つけたり、ゴミに気づいたり、海の環境整備の大切さについても改めて感じさせられました。		
参加者	・ 年長児 4 名 ・ 職員 2 名		
内容	・ 園の近所に鯛の出荷場があり、海に浮かぶ生けすから活魚車にどのように運ばれていくのかを、見学させてもらいました。見学の様子を『ホットニュース』として掲示し、保護者や他クラスの園児にも報告しました。今後も美味しい魚をたくさん食べて、『魚大好き！』な子どもたちに育てて欲しいと思います。		
			
	ライフジャケットを着て生けすに渡ります		この生けすの中にたくさんの鯛が泳いでいます
			
	生けすの中の鯛を網ですくいます	手際よくかごに入れます	ベルトコンベアーでトラックまで運びます

食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立奥南保育園
取 組 の 名 称	食育集会 旬の食べ物について ～魚 たい・ぶり～
実 施 時 期	令和4年 10月
取 組 内 容	【目的】 旬の食べ物、魚について知り、関心を深めます。 【対象者】 3・4・5 歳児…16名 （参加者：18名） 【実施内容】 資料を使って、魚についての話をしました。旬の魚、「たい」「ぶり」について、知ることができました。友だちと一緒に関心を持って、話したり、聞いたりしました。クイズ【この魚の名前はなんでしょう？】形式も楽しんでいました。魚の名前はよく知っていて、すぐに答えがでていました。予想していたよりも、興味・関心が高かったです。かなり熱心に見ていました。  「たいの鼻は、びっくりマーク!! だって。」 「すごいね。」  「こんなに、歯がするどいよ。」  「知ってた？」 「どんどんクイズがでてくるね。」  「どれどれみせて。」 「これは、たいだよ。」 【考察】 旬の食べ物といえば、果物や野菜をイメージすることが多かった ので、今回は「さかな」を取り入れてみました。楽しく学んで、集会の 後も振り返ることができるように、掲示しています。給食の献立にもでて いることを伝え、関心が持てるようにしています。

食育月間以外の月の取組

施 設 名	宇和島市立玉津保育園
取 組 の 名 称	「体とうんちの関係を知ろう」
実 施 時 期	9月21日（水）
取 組 内 容	【ねらい】自分の体に興味を持つ。食べ物と生活習慣と排泄の関係性を知る。 【対象】3．4．5歳児（19名） 【内容】 ◎食育集会 ○質問を交えながら子どもたちと一緒に考えてみました。 ・口の中で出てくる水は何？→「つば」 よくかむとたくさん出てくるね。飲み込みやすくなるよ。 ・手洗いしないで食べ物を食べるとどうなる？→「ばい菌がおなかに入る」 ○元気なうんちをつくるための3つの約束 ①好き嫌いをなく朝夕の食事をする②外でしっかり体を動かす③トイレに座って排便する。（我慢しない）をして翌日につなげました。 ◎今日のうんちはどんなうんちだったかな？ 未満児も立体的なうんちに興味津々。 匂ってみたり人差し指で触ってみたり、眉間にしわをよせていたり様々な反応を見せてくれました。 これこれ！いいうんちやったよ！ ベチョベチョうんちはばい菌がおる。 コロコロは野菜食べんけん。 ◎取り組み後の様子 子どもたちに目で見て分かりやすく、心が持てるように小麦粉粘土を使用してバナナうんち、コロコロうんち、ベチョベチョうんちを用意しました。 感染症など心配なことも多いですが、食を通じて元気な体で乗りきることができる方法を子どもたちと一緒に身につけていきたいです。その上で保護者との連携は欠かせないものです。保護者の方に身近なマチコミメールなどを使って情報発信していきたいと思います。

食育月間以外の月の取組

施設名	宇和島市立岩松保育園
取組の名称	見て、触って楽しもう！食育BOX「今日の食材なあに？」
実施時期	毎月1日に実施
取組内容	目的:いろいろな食材を見たり触ったりすることで、自分が食べるものに興味をもつ。  全クラスに順番に回します。  「これ何か知ってる？」 (2歳児…17名)  興味津々です！ (1歳児…12名)  今日の給食に入ります！ (3歳児…25名)  「どんな匂いがする？」  これとこれ、どこが違うかな？ (4歳児…17名)  「これ、うちにもあるよ。」 (5歳児…26名)  そーっと触らないと崩れるね。  これ、美味しいよね。   色や固さなど、色々な触感を楽しんでいます。 いろいろな食材に触れることで、身近に感じたり、親しみを感じたりするようです！